

**学年目標** 『**自他共に尊重し、逞しい心をもって、自ら考え、行動する集団に**』

～ チーム 36 期 ～

今年もあとわずかとなりました。高校生になって新しい友達、授業、部活などに会い、充実した時間を過ごせたことでしょう。そして、いよいよ高校2年生になる準備をする時期となりました。最後の1年間が受験へのラストスパートだとすれば、この1年は幅広い学習ができる最後の時間とも言えます。

先日の学年集会で述べたとおり、学習時間の増加、イブニングレッスンへの参加率の高さ、進路意識の高さ、模試参加率の高さ、各種検定の受験者数の多さ、模擬講義への積極的参加など、ここまでの36期生は良い状況にあります。この良い状況を維持し、さらに上を目指すために、気を付けるべき点を挙げてみましょう。

まずは目標を高く持つこと。先日の進研模試の結果を振り返りましたが、偏差値や順位と同じくらい、志望校選択に気を配って下さい。文理が混ざっていることは論外ですが、志望する学部や学科に統一性があるか見てみましょう。ベネッセのデータによると**第1志望を目指す理由をしっかりと言える生徒ほど成績が伸びる**とされています。まだ志望を迷っている人もいるかも知れませんが、覚悟を決め、高校2年生に向けてしっかりと助走を付けて欲しいと思います。また、最後まで国公立を諦めないことがより良い受験結果につながることは集会で話しました。理系で言えば私立志望に絞った生徒で理科大に合格した生徒は例年1・2人しかいません。また、仮に浪人したら国公立、と考えている人がいるかもしれませんが、現役時代に国公立を諦めてしまった人が浪人を経て国公立に受かったという話は残念ながら聞きません。**国公立大学を目指すことが皆さんの成績向上につながります。**

ところで第一志望校を低めに設定していませんか？「A判定が欲しい」「安全な受験をしたい」といって志望校を下げる必要は今の段階では全くありません。志望を下げることは皆さんに何のプラスもありません。成績を下げる要因を増やすだけです。**駿台模試の分析によれば、もっと上位の国公立大学を意識してよいという結果が出ています。**例えば英数国偏差値45以上で千葉・筑波・北大チャレンジレベルです。千葉・筑波でB判定(合格60%)を出すためには偏差値50が必要ですのでこれからの頑張りが必要ですが、学年の約1/3以上の生徒が千葉・筑波・北大にチャレンジできるのです。今からチャレンジすれば高2の中ごろには確実に偏差値5は上がっています。しかしこれが1年後の冬になると周りがみんな頑張りだしている時期ですから簡単にはいきません。50以上で東北・名古屋・大阪大チャレンジ、55以上で東大・東工大・一橋・医学部チャレンジレベルです(参考B判定 東大約65、東工大約60、一橋約60)。もっと旧帝大を意識して進路を考えて大丈夫です。多少無謀でも、目標は高く持ち、その目標に向かって何をすべきか整理し、**目標達成シートや手帳を使って計画的に学習に取り組むことが成績向上への近道**です。

1月以降模試が目白押しです。チャレンジセンター、進研模試、河合模試、駿台模試、Gテック、小論模試、駿台マーク、スタディーサポートが予定されています。実は**高校1年生くらいまでは学校の定期試験の勉強・復習が模試成績向上に直結します。**高1はまだ模試の出題範囲が狭いですので、定期試験で学習したことがそのまま出題されることがあるからです。これが高2・3となっていくと範囲は広がっていきますのでなかなか簡単に成績向上とはいかなくなってきます。高1の今だからこそしっかりと学習時間を確保し、まずは定期試験の振り返りをしましょう。それが終わったら模試の復習、受験サブリ、宿題に取り組んでください。宿題だけに取り組む学習で合格できる大学は限られます。**皆さんが行きたいと思うような大学に合格するためには主体的に学習に取り組む必要があります。**入試期間を含めた課題(後記)に受験サブリを用いた課題も用意されています。主体的学習に切り換えられるような課題も先生たちは考えていますので、皆さんも意識して取り組んでください。主体的に学習に取り組めるかどうかは他校の高1も抱えている問題で、今、主体的な学習に取り組むことができれば今思っている以上の大学に合格することも

可能です。他校の生徒が主体的に、そして頑張りだす前に差を縮め広げて、より望みの高い進路を実現しましょう。

昨日の学年集会で紹介した通り、12月学習時間調査の結果が思わしくありませんでした。9・10・11月と着実に学習時間を延ばしてきましたが、後期中間試験が終わって一息ついてしまったのでしょうか、平日の学習時間が一気に30分近く減ってしまいました。学習時間調査直後からイブニングレッスンの参加者が回復してきましたから、現状はもとに戻りつつあると期待していますが、この後クリスマスやお正月などのイベントがあります。ここで崩れないように、毎日学習する習慣を維持してください。さすがにお正月に3時間4時間も勉強しろとは言いませんが、1時間でも毎日学習することが大切です。**毎日やるという行動そのものが特に習慣の崩れそうな時期には大切です。**

来年の1月以降の学習時間は平日1日2時間が目標です。

少し長くなってしまったのでまとめますが、学習や進路に対する意識や習慣が向上しています。**国公立を第1志望**に据えて学習に取り組んでください。旧帝大クラスをもう少し意識してよいでしょう。**特に文系は数学、理系は国語に取り組んでください。国語は中でも古文・漢文をおろそかにしないように。まずは英数国を仕上げる**ことが非常に重要な要素になります。私大志望だったとしても、英数国バランスが悪いと合格しません。例えば早稲田合格者の高1河合模試平均偏差値は基幹理工で英67数72国62、法学で英69数62国67です。**千葉大（マーチ）クラスを考えるならばチャレンジセンターで英120点、国120点、数180点、東大（早慶）クラスを考えるならば英140点、国140点、数190点**が目標です。**主体的な学習に切り換え、目標達成シートや手帳を使って学習内容を管理し、毎日学習する習慣を維持してください。**

これらのことを踏まえうえで、直近に行われた後期中間試験を振り返ってください。

後期中間試験講評



【国語】

■後期中間テスト講評

（現代文）①テスト対策の中に（あるいは日々の授業の復習に）「まとめ」の作業は入っているだろうか。有言実行シートを見ると「読む」だけの対策を立てる者がほとんどだ。テストを受けた時に感じる『できない感』の原因の一つは、わかっているつもりでもわかっていないということである。『ころ』のあらすじは確かに頭に入っているかもしれない。しかし、「私」と「K」の信念、心情の変化、その表れとしての決め台詞、などをまとめてみた者はいなかったのではないか。理想的には授業でまとめるのであろうが、そうでなければ、自分でやればよい。模試や受験での読解、特に国立2次は、こういった「読解」→「要約」のプロセスがまさに問われている。扱う対象が評論であれ小説であれ、「読む」→「整理」→「要約」→「分析」→「鑑賞・評価」の手順は変わらない。かつこのプロセスは、文理を問わず学問の基礎的態度である。②記述解答の正確性。一文の長さ、主述関係の対応、設問に呼応する文末表現、解答欄の指示、などおざなりではいけない。

（古文）①たんにあらすじを覚えてきて、適当に解答する姿勢はいただけない。「現代語訳」と「説明」問題は解答のスタンスが異なることを肝に銘ずること。②模試で成績が伸びないのは、授業時に実践しているはずの手順や思考方法を蔑ろにしているから。その文章だけに使える方法を「使い捨て」で読解しているわけではない。それは単語や文法の理解と定着も同じ。未知の文章で使える実力をつける気持ちを忘れるな。

（漢文）書き下し文ができるだけで満足しない。「句形」は案外に広い世界。自分でまとめて効率化、共通化を図る必要がある。漫然と全部を覚えようとすれば、早々に限界が来る。読解では、登場人物・5W1Hなどのシチュエーションの理解のほか、「話の落ち」=教訓・寓意などを読み取る必要がある。いずれにせよ、そろそろ学習内容をコンパクトにまとめる時期だろう。「明説漢文に書き込む」「自分でまとめノートを作る」など、この冬休みに行動を起こすこと。

【現代社会】

GS

安楽死と刑事裁判に関わる基礎的な語句の確認問題で、記述がやや難しかったものの応用的な部分が少なかった。記述問題で書き方を指示したのに、それに従わずに書く者が多すぎる。これでは試験で得点をもらえない。少子化問題では、出生数が率と女性数で二重に低下する様をグラフで確認させたが、簡単な計算をグラフに適用できない者が多い。出生率低下の仕組みを説明させると、晩婚化などをあげて問題文と同じ二重の低下を書く者が多かった。授業での話をまとめるだけでなく、自分で疑問を持って晩婚化がどうして出生率低下に結びつくかなど、様々な観点から疑問を出して問題意識を深めてほしい。学年末はもう少し本当の意味の応用問題で、問題意識を問えるようにしたいと考えている。

GL

安楽死と刑事裁判に関わる基礎的な語句の確認問題で、記述がやや難しかったものの応用的な部分が少なかった。あまり書けなかった問題はなかったが、個々人を見ると被疑者と被告人を逆にしたり、足利事件と免田事件を逆に書いたりという意味を勘違いしている者がいる。ニュースにもよく出る重要な語句が多いので、文章で正しく使えるように完璧に理解し覚えていることを確認しておこう。センター試験を考えると、四択問題を7-8割とってほしいので、定期テストでもそのくらいの正解率になるかが重要。PPでプリントを見ながら家で必ず書き直しをしよう。それでも間違える人が多いはず。理解の浅さや読み取りの甘さがあるので、なぜ正しく答えられないかをしっかり点検しよう。

【世界史】

1組、2組、4組、5組、6組、7組 勉強してきた生徒と、できていない生徒に大きな差が見受けられます。基礎的な用語の部分を覚えることすら行ってこなかった人たちがかなり多く見受けられましたが、それに関しては、論外です。そのような状態ではこちらも対応する術がありません。次回、同じことがないようにしてください。

しっかりと勉強をやったうえで、点数が伸びなかった人については以下の点を確認してください。

- ① 単語の意味を理解できているか(ネップとは何かなど説明できる)
- ② 地図など詳覧に目を通したか

今回、特に地図に関して取り落としている人が多かったので、授業中の段階から詳覧に目を必ず通してください。

3組 空欄補充の語句を語群選択にしたため、一つのテーマの主要なポイント同士をつなぎ合わせことは難しくなかったようだ。空欄補充を記述にした場合は平均点が下がったと思うが、やはりきちんと重要事項を固めるためには、しっかりと書いて覚えるしかないであろう。

指定語句のある論述問題は、まずその指定語句をどのように使用するか、簡単な構想メモを作成してから本文を作成した方がよい。また指定語句の下線を忘れずに濃く書くように。

受験サプリについては、「高3 トップ&ハイレベル世界史(通史編)【改訂版】」の第43~46講が今後役に立つと思うので、トライしてみたい。



【数学】

GS中入数学I

範囲は図形と方程式・三角関数(グラフまで)ということで、広範囲からの出題。大問数は通常と変わらないが、問題レベルは相当なもので、結果として時間不足に陥る生徒も多かった。まずは早く正確に解くためのスマートな解法を一定レベルで習得すること。具体的には①~③(ただし②を除く)までを完答する力を文理問わず身につけたい。④、⑤は授業で扱った内容の発展内容として出題したが、この大問を完答した生徒は相当の自信を持って良い。

GS中入数学A

出題分野は整数のみ。大問の1が小問集合で一通りの項目を網羅した問題。ここが100パーセントできれば、整数についてはほぼ学習がなされていると判断できる。2、3の大問は答案の記述力を見る問題。整数の大学入試問題では、答えの数値のみを要求する問題よりも論証や証明の問題の方が多。従って記述力をつけることは極めて大切

である。ある程度筋の通った答えは予想より多かったが、まだ数式の羅列の生徒がいる。4, 5の大問は、発展的な内容の問題。4はピタゴラス数についての問題で、誘導のヒントに従えば最後まで到達可能だが、途中で論証が出てくる。論証まで完璧にできたのは一人だけ。5はRSAの暗号についての問題。授業で暗号の仕組みを、理論と共に、数当てという形で実演したので出来てほしかったのだが、内容が高度に抽象的なので、理解が不十分であったか、または時間的な制約で、4で終わってしまった生徒が少なくなかった。何人かの生徒は出来ていた。

GS高入数学I

単元は図形と方程式・データの処理の基本事項から出題。模試と同様に大問1は公式の確認等を問う小問集合であった。ここで取りこぼしがあるのは大きな課題である。定期考査に限らず模試でも大問1や各大問の(1)はいわば「点取り問題」である。4stepのAレベル相当をしっかりと演習して試験に臨みたい。基本事項をミスなく取りきることをまず取り組んで欲しい。

GS高入数学A

出題範囲は等式・不等式の証明～整数全範囲～三角関数のグラフということで、対策も相当の苦労を要したと思われる。結果は小問集合を中心として取りこぼしが多く、多くの課題が残る形となった。解答の正確さとスピードを上げることが急務。その為には既習分野の典型問題(具体的には4stepレベル)に関して、今まで以上の演習が不可欠となる。その上で、終盤の論証問題などにアプローチできる実力をつけていくのが良い。

GL中入数学A

単元は整数の性質と数列(Σ 計算まで)とボリュームがある範囲となった。平均点は前期よりは下がることは分かっていたが、予想を上回る下げ幅となった。数学に限らず全ての教科や試験に言えることだが、「基本事項をミスなく取りきる」ことが大事である。大問1は小問集合であるが、公式の運用ができていない結果が散見されたのは、今回力を入れた教科とそうでない教科があり、数学Aは後者の科目とした生徒が少なからずいるのではなかろうか。国公立大学はすべてをやりきることが求められる。ましてや理系で数学に穴があるのは勝負にならない。まず穴ができないように授業を聞く・穴ができれば早期解決を心がけたい。

GL高入数学I

図形と方程式の基本事項、応用題から出題。平均は56点で授業のスピードが速い割にはよかったと思います。内容的には、点と直線のところはよくできていました。円の方程式と軌跡のところは差が大きかったです。定期テストだから、教科書や4STEPをもっとしっかりやってから試験に臨んでください。円のところは、別解がいろいろあって問題としては面白いと思います。これからも、1つの問題を解くのに教科書通りでなく別の解き方がないか探すのは自分の数学の能力を高めることに大いにプラスです。

GL中入数学I

図形と方程式の円の方程式から三角関数のグラフの前までが試験範囲でした。内容としては、教科書の例題や4STEPの類題から出題したのですが、平均点は40点を少し超えたくらいでした。内容的には、三角関数の基礎的なものは良くできていましたが、円の方程式と軌跡のところは差が大きかったです。定期テストですので、教科書や4STEPをもっとしっかりやってから試験に臨んでください。円の方程式の問題は、別解がいろいろあって問題としては面白いと思います。これからも、1つの問題を解くのに教科書通りでなく別の解き方がないか探すのは自分の数学の能力を高めることに大いにプラスです。



【物理】

GSクラス

今回の試験は大部分が記述形式の試験であった。試験範囲も剛体のつり合い、運動方程式、運動量保存則と3つの分野にまたがり、特に運動方程式と運動量保存則は高校力学の最重要項目の分野であったため、かなり力を入れて準備をしないと太刀打ちできなかったであろう。最難関大学を意識した解答用紙であったため、ある程度訓練をしていないときちんとした答えは書けない。通常授業で行った「特別考査」が一般的な高校1年生が求められるレベルであるのに対して、諸君は平均66.3点と、しっかり得点できている。特に次年度物理選択予定者の25名は平均72.8点としっかり得点できているので、自信を失う必要はない。とはいえ、記述形式の問題がいかにか手ごわいかは理解できたであろう。せっかく理解できても訓練が足りないと、難関大の記述には対応できない。日頃から問題を解くとき

には答えを書くだけでなく、採点を意識した解法の記述を心掛け、早い時期から少しずつ訓練を始める必要がある。

GLクラス

前期期末の状態からよく持ち直しました。全体的にはよく頑張っていたと思います。70点以上の人数も充実しています。定期試験で70点を超えていれば得意科目と言っていいでしょう。今回惜しくもランキングに乗れなかった人は期末試験に向けて頑張ってください。一方で10点、20点をさまよっている人もまだいます。次年度物理選択者で40点を超えていない人は非常に苦しいです。期末に向けて奮起してください。補習も実施します。次年度物理を選択しない人で物理が苦手な人は何とか40点以上は取れるように、協力してください。他、詳細は授業で配布したプリントを参照してください。

【化学】

化学式、反応式、モル計算といった基礎が定着していない人がやや多くなりました。ドリルや問題集レベルの基本問題ができなかった人は、教科書の得手不得手以前に、学習方法、取り組みの姿勢の見直しが必要です。教科書、プリントを読み返し、問題集を解きなおすといった当然のことをしないままテストに臨んでいませんか。高1では基礎基本を徹底し、次年度以降の学習の土台をしっかりとつくってください。また、ある程度とれた人は、記述力、現象を理解する思考力、レポート等の作成力を身に付けましょう。

【英語】

GL コミュニケーション英語

今回はGLとGSでは別問題になりましたが、どちらにおいても教科書からの基礎的な問題が出題されていました。特にGLクラスにおいては、1. 新出単語の意味・使い方 2. 全体的な内容把握 (TorF) 3. 細部の内容把握等、普段からの授業の取り組みおよび復習をしっかりとやっていた人たちが良くできていたと思います。初見の長文問題は、短時間でいかに内容全体の把握をおこない、細部については必要な情報をスキャン・スキムできるかの英語能力が問われています。日頃から教科書以外の、英文読解の練習 (AXEL, GRASP, 洋書等) の取り組みをしっかりとしたいと思えます。冬休みには宿題を中心にしっかりと力をつけてください。

GS コミュニケーション英語

今回の試験では、語句や英文の内容理解を問う基礎的な問題に加えて、自分の考えを自分の言葉で的確に表現しなければならぬ記述問題が多く出題されました。英問英答問題をはじめ、1枚の写真を60~80語の英文で描写する問題、短い英文 (363語) を90~100字の日本語で要約する問題などありましたが、全体的にはよくできていたと思います。ただ、中には全く手が付けられておらず、解答欄が白紙になっている生徒もいました。記述問題には慣れが必要で、記述問題は面倒だと捨てるのではなく、とにかく挑戦するようにしましょう。

英語表現

授業で扱っている問題集や提出課題からの出題が7割ほどでしたので、もっと点数を取ってくれと期待していましたが、平均点はGLが約31点、GSが約59点でした。勉強法として、文法問題に関しては、「知らないと解けない」ものが結構ありますが、授業中扱える問題は多くはありません。皆さんの自主的な学習がとても重要になります。VintageやGraspも含め、なるべく数多くの問題を解いて経験値を蓄積しましょう。英作文に関しては、与えられた模範解答に留まらず、工夫して別解答を考えましょう。毎日、数行でもいいので日記風に英文を書く習慣をつけるといいですね。英文を書くことが億劫でなくなれば、かなりの進歩です。

【保健】

GL・GS 共通

中間考査よくできていました。今後は心肺蘇生法の手順と休養、栄養について勉強します。特に心肺蘇生法は実習も行うので頑張ってください。学年末考査も期待しています。



各教科から (今後の学習と課題)

【国語】

- ①読書ノート（他教科での読書課題なども含めてよい。分量自由）
- ②社説ノート（分量自由）
- ③「おーいお茶 新俳句大賞」応募作品の下書き（5句以上）
- ④（124567組）小論文書き方ノート（じっくりやること）
- ⑤自由課題（各自で問題集・受験サプリー等をやる。必修） ※1月までの課題
- ⑥各授業担当の先生から出された課題（あれば）
- ⑦成績不振者課題（対象者のみ）
- ⑧「お正月」に代表される日本の伝統文化について思いを馳せる
（提出日・方法）
 - ①読書ノート……1月9日（土）クラス回収・整備・1組前ロッカー上
 - ②社説ノート……1月12日（火）クラス回収・整備・1組前ロッカー上
 - ③各現代文の時間（用紙はないので、各自適当な用紙に記入しておく）
 - ④各現代文の時間
 - ⑤後日指示（1月末～2月初めに回収予定）
 - ⑥それぞれの指示に従う
 - ⑦課題の指示に従う
 - ⑧思いを吟ずる、和歌にする、俳句にする、歌を作る、絵を描くなど。（任意提出）



【社会】

現代社会か世界史に関する新書を読み、レポートを作成。詳細は別紙を参照すること。提出日は2月8日（月）。

【数学】

1. (1月以降の模擬試験対策として) 課題配布予定:12月21日(月) 提出日:1月12日(火)
模試対策プリント(2ヶ年分の問題に相当)を、A4レポート用紙に演習して提出。
※「演習する」ということは採点・復習を含める。
※レポート用紙の表紙には組・番号・氏名を必ず記すこと。
※選択問題については、すべての問題を解く。
2. (チャレンジセンター、学年平均8割を目指して) 課題は既に配布済み 提出日:1月29日(金)
駿台攻略シリーズ センター数学I・A(全内容)を専用ノートに演習して提出。
※「演習する」ということは丸つけ・復習を含める。
※夏期課題からの続きで取り組む。夏に作成した専用ノート(=目次を貼り付けたもの)を継続して使用。
※この問題集を自力で解けるようになれば、本番で8割得点することが可能になる。(と、問題集にも書いてある。)
3. (個々のレベルに応じて自学習を) 課題は既に配布済み 提出日:2月12日(金)
受験サプリーの講座を5つ選択して受講、受験サプリーノートに演習して提出。
※「演習する」ということは丸つけ・復習を含める。
※夏期課題からの続きで取り組む。夏に作成した専用ノート(=目次を貼り付けたもの)を継続して使用。
※ノート貼り付け用の問題プリントは、学年の棚に設置。個々の状況に応じて持っていくこと。
※センター対策講座もおススメ。もちろん5講座より多くやってもOK。

【物理】

受験サブリ課題テキスト。表紙の注意事項をよく読んで、問題に取り組んでください。提出は後期中間試験日です。他教科とのバランスを考えて計画を立てましょう。(GSクラスは任意課題とし、平常点には加算しません。)

【化学】

- 1, 2組** フォローアップドリル 8 溶解度 p. 19 までをきちんと計算して解くこと。提出は1/13 (水)
- 3~7組** プリント No. 13 溶解度の実験について、レポートを以下の形式で提出すること。提出は1/14 (木)
- (1) B5レポート用紙 (ルーズリーフ不可) 4枚以上、上部二ヶ所をホチキスでとめる。
 - (2) 表紙をつけ、実験題目、実験日、クラス、出席番号、班番号、氏名を記入
 - (3) 内容は、①目的 ②使用した器具、薬品 ③方法 ③結果 ④考察 ⑤感想その他調べたこと

【英語】

1. Australia and New Zealand
レポート用紙にP60~P66 (67は除く) の問題の解答をレポート用紙に書き、表紙を付けて提出。
提出日: 1月7日 (木) 朝 教科係が集めてコミュ英の先生に提出。
2. Grasp p40~p45
提出日: 1月7日 (木) 朝 教科係が集めて英語表現の先生に提出。
3. Crown Plus Lesson 1 の予習
提出日はなし。1月始めの授業中までに。
①新出単語の意味を確認する。
②各セクション (ページ) ごとに簡単に日本語で概要をまとめる
③リスニング&音読 ***1月以降は授業でCrown Plusを使用します。**
その他詳細は別紙配付プリントで確認してください。



【総合 (自分史)】

2016年夏の完成を目指して、取り組みます。以下は12/21の学年集会で説明した通りです。冬休みを利用して、家族や親せきから話を聞きましょう。

- ①自分史年表(0歳~現在まで)の作成 (P24~33 夏休み提出以降の加筆、P34, 35は高2以降用に未記入保存)
 - ②執筆までのスケジュール (P50, 51)
 - ③「自分史」の項目・内容 (P52, 53)
 - ④執筆10枚以上 最終的に30枚以上書いて提出しますので、入力形式を揃えておくと便利です。原稿用紙、パソコン入力(1枚で400字以上)等、自分の書きやすい方法で結構です。
- ⇒①~③は1/7提出、④は2/8提出。

活躍の記録

「千葉市科学館 英文科学エッセイ」表彰
「英検1級」合格

1組 吉住優憧君
3組 浅岡遥さん



「税の作文 柏税務署長賞」受賞

5組 長谷川実莉さん

「Web コンテスト」セミファイナリスト

180044 「これでキミも食マスターだ!!」メンバー 村田・水上・松野・小沼・小河原

180072 「SITK子供貧困サミット」メンバー 鈴木・新・岡田・高橋

パスポートの申請について

来年のオーストラリア研修に向けて、パスポートを用意して下さい。まだ持っていない人は冬休み中に申請しましょう。10月17日の保護者会で配布しました、申請書に従って手続きをして下さい。すでに持っている人も有効期限（2016年12月末以降か）を確認しましょう。1月7日にコピーを提出して下さい。

また、外務省では海外に旅行する日本人の安全確保のために、海外旅行登録「たびレジ」を運用しています。これに登録しますと、現地で大きな事件等が発生した場合に緊急一斉通報によるメールなど安全に関する情報を受け取ることができますので、海外旅行を予定している人は是非登録して下さい。本校ホームページにリンク先が案内してあります。



手帳を活用しましょう！



現在、学年で手帳を一括購入していますが、来年度も同様に購入する予定です。スケジュール管理や持ち物確認など、継続して活用して下さい。手帳は4月スタートの形式ですが、年末年始を控え、改めて使い方を見直しましょう。

今後の予定

- 1月 7日(木) 始業集会・40分短縮授業
21日(木) チャレンジセンター
25日(月) 小論文模試
29日(金) 進研模試
31日(日) 河合記述模試(希望者)
- 2月 8日(月) 駿台模試(希望者)
9日(火) Gテック模試
13日(土) クラス保護者懇親会・仕事塾
- 3月 2日(水) 高校卒業式(高1は自宅学習)
8日(火) ~11日(金) 後期期末試験
23日(水) 中学卒業式(高校生は自宅学習)
24日(木) 終業式



入学試験に伴う臨時休校と自宅学習については、別紙(本日発行)をご確認下さい

夢実現のための十則

- 夢を持て。ない夢はかなわぬ。目標なく一生懸命やることに酔うな。
- やることを与えられるな。自分のために創り出し、形にして期限を決めよ。
- 他人と関われ。他人を理解しようとしろ。他人に理解される努力をしろ。
- 挨拶をせよ。人に気付き、人に気付いてもらえる。
- 毎日他人に奉仕しろ。心がきれいなら他人も応援してくれる。
- 話を聞く姿勢を作れ。聞く人には教えたくなる。助けたくなる。
- 書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。
- 自分と戦え。自分は見ている。人と戦うな。気にするな。自分が変われ。
- 大事なことは最初にやれ。優先順位を考えろ。タイミングを逃すな。
- 成功を繰返し、失敗を繰返さぬよう分析しろ。原因を五回さかのぼれ。